

指定管理者総合評価シート

（評価対象期間 平成27年4月1日～平成29年3月31日）

1 基本情報

施設名称	千葉県ことぶき大学校
条例上の設置目的	社会福祉の増進及び男女共同参画社会の形成を図るため、市民の自主的な活動及び交流の場を提供するとともに、各種の事業を行うこと。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	高齢者が知識や技能を修得し、仲間づくりを行い、学習の成果を地域活動に活かすことなどを通じ、生きがいがづくりと地域の活性化を図っていくこと。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が知識・技能を自ら修得できる場を提供すること。 ・ 地域や多世代の人との交流の場を提供すること。 ・ 地域活動に担い手となる人材を育成すること。
制度導入により見込まれる効果	学生の満足度が向上する効果及び卒業後の地域活動への参加意欲が向上する効果
指定管理者名	千葉県ハーモニープラザ管理運営共同事業体
構成団体 (共同事業体の場合)	【代表団体】社会福祉法人千葉県社会福祉事業団 ※千葉県ことぶき大学校担当
	【構成団体】社会福祉法人 千葉県社会福祉協議会
	【構成団体】公益財団法人 千葉県文化振興財団
指定期間	平成28年4月1日～平成30年3月31日（2年）
所管課	保健福祉局高齢障害部高齢福祉課

2 成果指標等の推移

(1) 学生生活において「とても満足している」「満足している」と答えた人の割合（卒業時アンケート）
(成果指標1)

	平成27年度	平成28年度	平均
実績値	97.4%	94.5%	96.0%
数値目標※	90.0%	90.0%	90.0%
達成率	108.2%	105.0%	106.6%

(2) 卒業後、地域活動やボランティア活動に参加したいと答えた人の割合（卒業時アンケート）（成果指標2）

	平成27年度	平成28年度	平均
実績値	95.5%	89.7%	92.6%
数値目標※	90.0%	90.0%	90.0%
達成率	106.1%	99.7%	102.9%

(3) 卒業生のアンケートで地域活動・ボランティア活動に「現在、継続的に参加している」「たまたま、参加することがある」と答えた人の割合（卒業後3年まで）（成果指標3）

	平成27年度	平成28年度	平均
実績値	74.7%	75.8%	75.3%
数値目標※	60.0%	60.0%	60.0%
達成率	124.5%	126.3%	125.4%

(4) 成果指標以外の利用状況を示す指標

指 標	平成27年度	平成28年度	合計
応募者数	217人	210人	427人
入学者数	186人	185人	371人
卒業者数	167人	166人	333人

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

3 収支状況の推移

(単位：千円)

			平成27年度	平成28年度	合計	
必須業務	収入	指定管理料	実績	28,972	31,953	60,925
			計画	28,972	31,953	60,925
	利用料金	実績	0	0	0	
		計画	0	0	0	
	その他	実績	0	0	0	
		計画	0	0	0	
	合 計	実績	28,972	31,953	60,925	
		計画	28,972	31,953	60,925	
	支 出	実績	29,753	30,694	60,447	
		計画	28,972	31,953	60,925	
収 支		実績	△ 781	1,259	478	
総収入		実績	28,972	31,953	60,925	
総支出		実績	29,753	30,694	60,447	
総収支		実績	△ 781	1,259	478	
利益の還元額		実績	0	0	0	
利益還元の内容						

4 管理運営状況の総合評価

評価項目	評価	評価の具体的内容・理由
1 成果指標の目標達成	B	2年度とも目標値をほぼ上回っており、目標が達成されたものと評価できる。
2 市の施設管理経費縮減への寄与	A	提案額を下回る計画額で事業を執行しており、経費削減に一定の寄与がみられる。
3 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	部屋利用の規定を定め、団体・クラブへ平等に貸し出している。また、施設内事故への対応策として緊急対応マニュアルを定めるほか、施設賠償保険に加入している。
4 施設管理能力		
(1) 人的組織体制の充実	C	計画通り適正に職員を配置している。また、職員の能力向上のため職場内研修・外部研修等への積極的な参加を促進し、知識習得に努めている。
(2) 施設の維持管理業務	C	備品管理簿を作成するとともに、所在や状態を定期的に確認している。
5 施設の効用の発揮		
(1) 幅広い施設利用の確保	C	ことぶき大学校が休講となる日には、プラザ内施設の他事業で空き教室を有効活用している。また、オープンキャンパスにおける体験教室の実施やチラシの作成など、広報活動に注力している。
(2) 利用者サービスの充実	B	卒業生も対象に含め、ボランティアコーディネーターによるボランティア活動の情報発信や相談の受付等を行っている。また、平成27年度は卒業生ボランティア等の活用により、障害のある学生の受入に尽力している。
(3) 施設における事業の実施	B	ボランティア活動に必要な技術を身に付ける体験教室等を実施している。また、カリキュラムの変更等により、専門授業がボランティア活動へ繋がる仕組み作りを整えている。
6 その他 (市内業者の育成、市内雇用の配慮、障害者雇用の確保、施設職員の雇用の安定化への配慮)	C	趣旨に沿った形をとり、可能な範囲で適切に対応している。

総合評価	B
------	---

【評価の内容】

- A：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
- D：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。
- E：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

5 総合評価を踏まえた検討

(1) 指定管理者制度導入効果の検証

○	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

(上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因)

年度評価シートにおいて、平成27年度はCに相当する評価、平成28年度はBの評価を行っており、指定管理業務は適正に執行されている。
また、指定管理者にて広報活動の注力やカリキュラム内容の変更、夏季休暇期間中におけるボランティア体験会の実施など、柔軟な対応を行ったことにより、利用者へのニーズに細やかに対応することができ、利用者満足度が一定の水準で保たれたと考えられる。

(2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

入学時点における定員充足率は一定の割合を保っているが、引き続き、充足率の向上を目指し、応募者数の増加につながるよう、広報活動を継続するほか、カリキュラムや事業の改善に取り組んでいく必要がある。

(3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	施設管理手法の見直しを検討する。
	既に施設管理手法の見直しを決定している。

(4) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会の意見

・経費の削減と利用率の増加については、評価できる。一方、定員充足率については、今後も引き続き努力をお願いしたい。